

JIS

蛍光ランプ封入水銀質量の測定方法

JIS C 7803 : 2011

(JELMA/JSA)

平成 23 年 12 月 20 日 改正

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

日本工業標準調査会標準部会 電気技術専門委員会 構成表

| | 氏名 | 所属 |
|-------|--------|-----------------------------|
| (委員長) | 小田 哲治 | 東京大学 |
| (委員) | 岩本 佐利 | 一般社団法人日本電機工業会 |
| | 岩本 光正 | 東京工業大学 |
| | 上原 京一 | 株式会社東芝 |
| | 大石 奈津子 | 財団法人日本消費者協会 |
| | 大崎 博之 | 東京大学 |
| | 長田 明彦 | 社団法人日本配線器具工業会 |
| | 京橋 昌次郎 | 社団法人電池工業会 (パナソニック株式会社エナジー社) |
| | 熊田 亜紀子 | 東京大学 |
| | 佐々木 喜七 | 財団法人日本電子部品信頼性センター |
| | 島田 敏男 | 社団法人電気学会 |
| | 下川 英男 | 社団法人電気設備学会 |
| | 鈴木 篤 | 社団法人日本電球工業会 (日立アプライアンス株式会社) |
| | 住谷 淳吉 | 一般財団法人電気安全環境研究所 |
| | 豊馬 誠 | 電気事業連合会 |
| | 中村 禎之 | 一般社団法人日本電機工業会 |
| | 原田 真昭 | 社団法人日本電線工業会 |
| | 飛田 恵理子 | 特定非営利活動法人東京都地域婦人団体連盟 |
| | 前田 育男 | IEC/ACOS 専門委員 (IDEC 株式会社) |
| | 山田 秀 | 筑波大学 |

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：平成 18.4.20 改正：平成 23.12.20

官 報 公 示：平成 23.12.20

原 案 作 成 者：社団法人日本電球工業会

(〒101-0021 東京都千代田区外神田 6-15-9 明治安田生命末広町ビル TEL 03-5812-1271)

財団法人日本規格協会

(〒107-8440 東京都港区赤坂 4-1-24 TEL 03-5770-1571)

審 議 部 会：日本工業標準調査会 標準部会 (部会長 稲葉 敦)

審議専門委員会：電気技術専門委員会 (委員長 小田 哲治)

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成者又は経済産業省産業技術環境局 基準認証ユニット環境生活標準化推進室 (〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1) にご連絡ください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第 15 条の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

目 次

| | ページ |
|----------------------------|-----|
| 序文 | 1 |
| 1 適用範囲 | 1 |
| 2 引用規格 | 1 |
| 3 用語及び定義 | 2 |
| 4 一般 | 2 |
| 5 蛍光ランプ内水銀回収手順 | 3 |
| 5.1 試薬 | 3 |
| 5.2 器具 | 3 |
| 5.3 試料準備 | 3 |
| 5.4 試料溶解 | 7 |
| 5.5 ろ（濾）過 | 7 |
| 6 測定及び分析 | 7 |
| 6.0A 一般 | 7 |
| 6.1 ブランクテスト | 7 |
| 6.2 データ報告 | 7 |
| 6.3 分析方法 | 7 |
| 附属書 A（規定）加熱気化原子吸光分析法 | 9 |
| 附属書 B（参考）コールドスポット法実施手順例 | 11 |
| 附属書 JA（規定）ランプ内水銀のサンプリング方法 | 14 |
| 附属書 JB（規定）CCFL 管内の水銀の溶解方法 | 19 |
| 附属書 JC（規定）試料溶液の水銀定量操作 | 22 |
| 附属書 JD（参考）JIS と対応国際規格との対比表 | 27 |
| 解 説 | 29 |